

令和7年度

学校関係者評価報告書

令和8年4月

富山市立看護専門学校

富山市立看護専門学校 学校関係者評価委員会は、令和7年度 自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、その結果を報告いたします。

[対象期間] 令和7年度

[実施方法]

自己点検・自己評価報告書を学校関係者評価委員に配布・説明した後、自己評価結果に対する評価・意見を求めた。

[自己評価の概要]

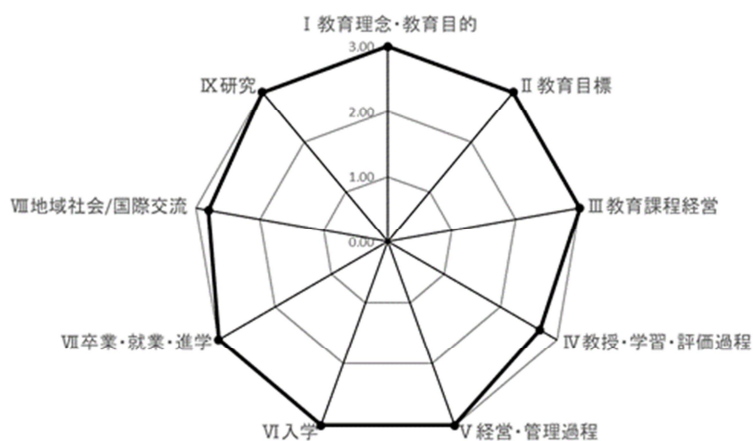
自己点検・自己評価項目は、厚生労働省による「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に準拠し、下記の9つのカテゴリーの各項目について、3：当てはまる～1：当てはまらないの3段階で評価し、カテゴリー内各項目の平均点をカテゴリーの評価点とした。

[評価項目]

- カテゴリーⅠ 教育理念・教育目的
- カテゴリーⅡ 教育目標
- カテゴリーⅢ 教育課程経営
- カテゴリーⅣ 教授・学習・評価過程
- カテゴリーⅤ 経営・管理過程
- カテゴリーⅥ 入学
- カテゴリーⅦ 卒業・就業・進学
- カテゴリーⅧ 地域社会／国際交流
- カテゴリーⅨ 研究

[令和7年度 自己評価結果]

カテゴリー	平均点
Ⅰ 教育理念・教育目的	3.0
Ⅱ 教育目標	3.0
Ⅲ 教育課程経営	3.0
Ⅳ 教授・学習・評価過程	2.6
Ⅴ 経営・管理過程	3.0
Ⅵ 入学	3.0
Ⅶ 卒業・就業・進学	3.0
Ⅷ 地域社会/国際交流	2.8
Ⅸ 研究	3.0



カテゴリーⅠ・Ⅱ 教育理念・教育目的・教育目標

- 1 教育理念・教育目的は自養成所の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性があるか
- 2 教育理念・教育目的は、学生にとって学修の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっているか
- 3 養成する看護師等の質を保証するために、どのような教育内容、教育方法、教育環境を整えようとしているかを述べているか
- 4 看護、看護学教育、学生観について、教師の教育活動の指針となるように明示し、実際に指針となっているか
- 5 養成する看護師等が卒業時点においてどのような資質を有すべきかを明示し、その資質は、社会に対する看護の質を保証するのに妥当であるか
- 6 教育理念・教育目的と教育目標が一貫しているか
- 7 教育目標は、設定した教育内容を網羅し、かつ、最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとして示しているか
- 8 教育目標において、目標内容と到達レベルが対応し、具体的で実現可能な目標として明示しているか
- 9 看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定しているか
- 10 卒業後の継続教育の考え方を示したうえで、看護基礎教育として教育目標を設定しているか

【評価】

- 18歳人口が減少している中でも入学生を確保し、高い国家試験合格率を維持していることは素晴らしい。ホームルームでの教育目標周知や学習への動機づけ等の取り組みも評価できる。
- 卒業生の看護実践能力評価も高く、卒業生の看護の質の保証となっているのではないかと。

カテゴリーⅢ 教育課程経営

- 1 教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解した上で、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っているか
- 2 看護学の内容は、求める学修の到達および学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成しているか
- 3 科目と単元の構成にあたって、明確な考えと根拠があり、その考え方は教育理念・教育目的、教育目標との整合性があるか
- 4 構成された科目と単元は看護師等を養成するのに妥当であり、かつ養成所の特徴を表しているか
- 5 単位履修の方法とその制約について、教師、学生の双方が分かるように明示し、その方法は学生の単位履修の支援となっているか
- 6 単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように科目の配列をしているか
- 7 単位認定の基準及び方法は、看護師等に必要となる学修を認めるものとして十分に根拠があり、また、妥当であるか
- 8 他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えているか
- 9 教育課程を評価する体系が整っており、また、結果の活用における倫理規定が明確になっているか
- 10 教員の担当科目と担当授業数は、専門性を発揮できるように配分し、かつ、授業の準備をする時間がとれる体制を整えているか
- 11 教育課程の実践者である教員が、自ら成長できるための自己研鑽、相互研鑽のシステムを整えてい

るか

- 12 臨地実習施設は、各看護師等養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解し、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか
- 13 臨地実習における学生の学びの質を保証するために、臨地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし、協働体制を整えているか
- 14 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示し、学生への指導を計画的に行っているか
- 15 臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析し、安全教育、安全対策を計画的に行っているか

【評価】

- 特に意見なし。

カテゴリーⅣ 教授・学習・評価過程

- 1 当該授業の内容は、教育課程との関係において当該学生のための授業内容として設定しているか
- 2 授業内容に応じた授業形態（講義、演習、実験、実習）を選択しているか
- 3 授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか
- 4 当該授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか
- 5 学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制が明確になっているか
- 6 評価計画を立案、実施し、評価結果に基づいて実際に授業を改善しているか
- 7 学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れ、目標の達成状況を明確に捉えているか
- 8 評価の方法について、特に単位認定のための評価については、学生に公表（認定基準等）し、公平性があるか
- 9 シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性をもち、学生の学習への動機づけや支援になっているか

【評価】

- 若手教員に対する相談しやすい環境及びサポート体制を整備する等、教授活動に自信を持てるよう支援を強化してほしい。

カテゴリーⅤ 経営・管理過程

- 1 養成所の設置、教育理念・教育目的、教育課程経営、教育評価、および養成所の管理運営に関する管理者の考え方について、設置者の意思との一貫性をもち、かつ、教職員はそれを理解しているか
- 2 組織体制は養成所の教育理念・教育目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確であり、かつ組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるように整えているか
- 3 組織の構成と教職員の任用、および、教職員の資質の向上についての考え方と対策は、教育理念・教育目的を達成するために整合性をもち、持っているか
- 4 養成所の財政基盤をどのように確保するかについて明確な考え方をもち、学習・教育の質の維持・向上につながるようになっているか
- 5 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解し、それぞれの観点から財政についての意見を経営・管理過程に反映できるようになっているか

- 6 学習・教育環境について、管理者としてどのような考え方をもち整備しようとしているかを示し、その考え方に基いて整備計画を立案し、実施しているか
- 7 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備し、また、医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、整備・改善しているか
- 8 学生および教職員にとっての福利厚生施設設備は、養成所が設置されている地域環境との関連から検討し、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備しているか
- 9 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的にかつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっているか
- 10 教育・学習活動に関する関係者（保護者等）への情報提供を行うことによって、その協力・支援を得ているか
- 11 広報活動は、看護師等を養成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっているか
- 12 養成所の運営においては明確な将来構想のもとに運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案し、その実施・評価は将来構想との整合性をもっているか
- 13 自己点検・自己評価の意味と目的を理解し、実際に自己点検・評価を行うための知識と方法を明確に持っているか
- 14 養成所の自己点検・自己評価体制を整え、運用し、その機能は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、養成所の教育理念・教育目的、教育目標を維持・改善するものとなっているか

【評価】

- 学費の安さや学習環境の充実等をもっと前面に打ち出して学校の存在をアピールしたらよい。
- 今年度の新しい取り組みである高校教員向けの説明会や保護者向けの広報活動等で学校の認知度を維持・向上するとよいのではないか。

カテゴリーⅥ 入学

- 1 教育理念・教育目的との一貫性から入学者選抜についての考え方を述べているか
- 2 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証しているか

【評価】

- 18歳人口減少の中で定員の入学生を確保していることは評価できる。

カテゴリーⅦ 卒業・就業・進学

- 1 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、それを計画的に行っているか
- 2 卒業生の到達状況、就業・進学状況を分析した結果は、教育理念・教育目標と整合性があるか
- 3 卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にし、教育を改善するために、就業先との情報交換や調査の実施等を改善するために、就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えているか
- 4 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理し、教育理念・教育目標、授業の展開に活用しているか

【評価】

- 卒後3年くらいまでの看護師を見ていると、それぞれのスピードは違うが長い目で見ると皆成長している。学校と病院が継続的に連携することが卒業後の就業継続につながるのではないか。
- 卒業生が就業を継続できるよう、看護の魅力の発信や進路先とのマッチング等を続けてほしい。

カテゴリーⅧ 地域社会／国際交流

- 1 社会との連携に向けて、地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか
- 2 養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段、養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか
- 3 地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか
- 4 国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか
- 5 国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか
- 6 海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制があるか
- 7 留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制があるか

【評価】

- 特に意見なし。

カテゴリーⅨ 研究

- 1 教員の研究活動を保障（時間的、財政的、環境的）しているか
- 2 教員の研究活動を助言・検討する体制が整っているか
- 3 研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援しあう文化的素地が養成所にあるか

【評価】

- 特に意見なし。

【総括】

今回の学校関係者評価では、看護の魅力の発信や学校の認知度の向上による入学志願者確保と、若手教員への教授活動に自信を持てるような支援に対して、現在の取り組みを継続・強化する必要があることをご指摘いただきました。

委員の皆様から本校の良さである学びやすい環境の維持や実践力の育成を継続し、この良い状態を持続してほしいとのご意見をいただきました。

今後も定員の入学生確保を維持し、看護実践力を身につけた卒業生を輩出すべく、引き続き広報活動や学生が学びやすい環境の整備及び支援に取り組んでまいります。また、教員全員が自信をもって教授活動を行えるよう、相互授業評価等を継続し、積極的な研修参加等で研鑽を積み、教員の資質向上にも努めてまいります。

学校関係者各位よりいただいた意見をもとに、本校の独自性を意識し、今後もよりよい学校運営に努めていきたいと考えています。